

第 30 回 安平町子ども・子育て会議 議事録

会議概要

- 会議名: 第 30 回 安平町子ども・子育て会議
 - 開催日: 令和 8 年 9 月 30 日 (水) 15:00~17:30
 - 出席者:
 - 及川町長 (公務のため途中退席)
 - 井内教育長
 - 教育委員会事務局: 学校教育グループ (佐々木次長、上岡補佐、笹山主査、河合)
 - 委員: 別添出席簿のとおり
-

議事次第

1. 開会・町長挨拶
 2. 協議事項: 児童の放課後の居場所について (第 2 学童クラブ新設に伴う計画変更の頭出し)
 3. 報告事項:
 - ① 移動児童館の開設について
 - ② 子ども休暇制度の実施状況について (半年経過報告)
 - ③ 支援システム「PiPit スクール」SOS 機能の実装・運用について
 - ④ 安平町の子どもを取り巻く現状データ
(特別支援、不登校、移住・少子化、学力・自己肯定感)
 - ⑤ 安平町の教育行政の方向性 (「遊び・学び・挑戦」、あびらコラボセンター構想)
 - ⑥ はやきた子ども園における児童発達支援事業の計画
 4. その他・意見交換
 5. 事務連絡・閉会
-

審議・報告内容および主な発言

1. 委嘱状交付・町長挨拶

- 一部委員の変更に伴い、町長から委嘱状の交付を行った。
 - 各種学校行事や地域イベントの開催、道の駅あびら D51 ステーションの来場者 500 万人達成の報告とともに、子育て世代に選ばれるまちづくりへの取り組みが進展している旨を述べた。
-

2. 協議事項：児童の放課後の居場所について 説明（学校教育グループ 笹山主査）

- **放課後の居場所の整理:** 遊びの場である「児童館（0～18 歳対象）」、就労等で不在となる家庭の「放課後児童クラブ（学童）」、体験学習を行う「放課後子ども教室」の 3 つがあり、安平町ではいずれも無料で一体的に運営されている。
- **早来地区の課題:** 早来地区の学童クラブは定員 40 名に対し登録が 110 名、待機児童が 21 名に達しており、施設の過密化や質の低下、支援員の負担増が課題となっている。なお、追分地区は定員 40 名に対し登録 38 名で定員内に収まっている。
- **対応方針（第 2 学童クラブの新設案）:** 早来学園の中アリーナ等を活用して「第 2 学童クラブ」を開設する計画。既存学童（1～3 年生）と第 2 学童（4～6 年生）で学年分離を行う案を検討中。
- **スケジュール:** 今回は頭出しであり、令和 9 年度の実施に向けて次回 2 月の会議にて正式に計画変更を諮問予定。

【質疑応答・意見】

- **待機児童発生理由:** 支援員の負担軽減と安全確保のため、就労要件（週 48 時間以上など）による選考を行った結果であると説明。ただし学童に登録できなくても児童館枠（ランドセル来館）としての利用は可能。
 - **指導員体制:** 現在の児童館スタッフ 6 名に加え、第 2 学童新設に伴い新たに 4 名を配置予定。
-

3. 報告事項

① 移動児童館の開設 説明（学校教育グループ 笹山主査）

- **概要:** 早来学園の大アリーナを週 1 回、小学 4 年生～中学 3 年生（9 年生）対象に開放し、安全に体を動かして遊べる場を提供する（10 月 5 日開始）。スタッフは 2 名配置。

【質疑応答・意見】

なし

② 子ども休暇制度の実施状況（導入半年報告） 説明（学校教育グループ 笹山主査）

- **制度概要:** 令和 8 年度 4 月開始の町独自制度。心身の休養や家族体験のため、小中学生が年間最大 5 日まで取得可能。理由不問・事後報告不要で、欠席ではなく「出席停止」扱いとなる。
- **利用状況:** 約半年で児童生徒の **34.4%が利用**。小学生（約 30%）に比べ、中学生（約 47%）の利用率が高い。利用目的の最多は「心身のケア・休養」、次いで「家族旅行」。
- **課題・アンケート論点:** 授業の遅れやテストへの不安、保護者側の「休まず通うべき」という意識が挙げられた。

【質疑応答・意見】

- 迅速な導入に対する手続きや学校現場・保護者への丁寧な事前周知の必要性について懸念が示された。
- 一方で、学校の校務システム上で自動集計・処理されるため教員の事務負担が生じない点や、家庭内での対話の契機となり不登校の未然防止につながっている点が保護者委員より肯定的に評価された。

③ 校務支援システム「PiPit スクール」SOS 機能の実装・運用 説明（学校教育グループ 河合主事）

- **機能概要:** 児童生徒の PiPit スクールに SOS 相談ボタンを実装（8 月下旬から運用開始）。悩みを打ち明けやすくするため、個別相談したい教員を指名して送信できる仕組み。

- **対応フロー:** SOS が送信されると校長・教頭・教育委員会へメール通知。周囲に知れないよう配慮して個別面談を実施し、ステータス（未対応・対応中・解決済み）を教育委員会と共有する。
- **運用状況:** これまでに 1 件の利用があり、迅速に対応・解決された。

【質疑応答・意見】

- 端末持ち帰り時の夜間対応や家庭内トラブルへの対応範囲、パスワード管理の重要性、対面や保健室等での直接的な対話の重要性について指摘がなされた。

④ 町の子どもの現状データ 説明（井内教育長）

- 町の子どもたちを取り巻く現状について、特別支援教育や不登校、移住・少子化の動向などの各種データを交えた詳細な説明がなされました。

【質疑応答・意見】

なし

⑤ 安平町教育行政の方向性 説明（井内教育長）

- 単なる知識習得から「遊び・学び・挑戦」を軸とした資質・能力の育成へ転換。
- 幼児教育・放課後活動・学校教育の連携に続き、令和 9 年度に向けて地域と学校をつなぐ「あびらコラボセンター」構想を推進（コーディネーター配置により地域活動・多世代交流を促進）。

【質疑応答・意見】

なし

⑥ はやきた子ども園の取り組み 説明（はやきた子ども園副園長）

- 園の空き教室を活用した「児童発達支援事業」の展開を計画中（園児 171 名中、要支援児 16 名）。通園しながら園内で専門的な支援を受けられる体制の構築を目指す。

【質疑応答・意見】

なし

4. その他・委員からの意見

- **通学路の交通安全対策:** 追分子ども園前の変則十字路において、横断歩道がない点やカラー舗装の劣化が指摘され、児童の安全確保に向けた再整備の要望が出された。
- **追分高校の取り組み:** 菅原教頭（宮川校長代理出席）より、高校生による「追高レストラン」やクラウドファンディングの実施、学校見学会の状況が報告された。

5. 事務連絡

- 新任委員に対するマイナンバーカードのコピー提出および報酬振込先口座確認の案内が行われ、閉会した。